

看護学同窓会便り No. 17

令和3年11月23日発行
連絡先
電話・FAX 095-819-7946
同窓会事務局 中尾

会長あいさつ

会長 浦田 秀子

会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年からの新型コロナウイルス感染は拡大・長期化しており、一日も早い収束をひたすら祈りながらの毎日です。医療現場がますます逼迫している中、感染症と向き合い、患者さんの最も近くにおいて看護に全力を尽くして頂いている同窓生の皆様に敬意を表し、心より感謝を申し上げます。

感染拡大を防止する対策を遵守しながらの生活の中、私達は様々な課題に向き合っておりましました。多くの制約のなかで、「これならできる」「こういうやり方を取り入れよう」など、気持ちを切り替え、苦境の中にあっても、新たな方法を見つけられたことは大きな収穫でもあったかと思えます。

また、教育環境も大きく影響され、特に経済的に学生が就学を継続することが厳しい状況も生じてきました。そこで、母校、医学部保健学科看護学専攻からの依頼のもと、学生の経済的支援のために寄付を願いましたところ、多くの同窓生の皆様にご厚意を寄せていただきました。非常事態に同窓会として結束できたことに感動し、そして皆様の母校への誇りと発展を願う揺るがない思いに歴史の重みを確信いたしました。

今年も保健学科16回生66名を新入会員としてお迎えすることを心より嬉しく思います。母校は118年目を迎え、同窓会の目的を果たすべく、役員一同活動してまいりたいと思います。何卒ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年度の長崎看護学同窓会総会・懇親会は皆様の安全と健康を守るため、開催を見合わせました。ご理解いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。来年こそは、皆様とお会いできることを願っております。

コロナ禍ではありますが、日々の生活を大事に、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

庶務報告



令和元年度庶務報告

- 令和2年度入会者 77名
令和3年度入会者 66名
- 経過報告
 - 同窓会総会 令和2年11月14日
新型コロナウイルス感染拡大防止のため
理事会において総会の決議を行った。
 - 理事会開催 3回(内1回は書面会議)
 - 慶弔
 - 原爆慰霊祭に浦田会長献花、生花寄贈
 - 保健学科卒業式に生花スタンド、祝電
 - 原爆復興記念事業
 - 原爆復興75周年記念事業費へ30万円
の拠出
 - 「新型コロナウイルスと共存する看護学教育」
への寄付協力
 - 看護学研究奨励賞運営
 - 同窓会便りNo.16発行

同窓会員数

総数	4,087名
養成所	242名
厚生女学部	125名
看護学校	1,279名
医療短大	1,200名
保健学科	1,214名
	(医療短大の卒業生7名を除く)
修士課程	24名
	(看護学校、医療短大、保健学科 の卒業生31名を除く)
名誉会員	0名
準会員	3名

2021年9月30日現在



新型コロナウイルス感染症に対する看護活動

長崎大学病院看護部 医短2回生 齊藤美保

私は、質・危機管理担当の副看護部長を務めており、その役割の中に感染管理が含まれています。2020年1月以来、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナとする)という未曾有の感染症に対して、担当副看護部長として様々な活動を行ってきました。

当院には第1類感染症対応の感染症病床を備えたA病棟があり、2020年3月に1人目の患者を受け入れました。その後、4月にイタリアのクルーズ船「コスタ・アトランチカ」で150名近くのコロナ陽性者が判明した際は、病院内に緊張が走りました。多数の患者受け入れに備えて、A病棟以外からコロナ対応を希望する看護師を緊急招集し体制を整えました。その後繰り返す感染拡大の波に対して、看護体制を見直していき、BCP(事業継続計画)策定も行いました。A病棟以外にもコロナ受入れ病棟を設定し、複数の病棟を順次コロナ対応病棟として参入する体制を整えました。看護師達は、当初は不安や戸惑いの表情でしたが、次第に看護師としての使命感に変化していく様を見て、たくましく思いました。コロナ対応以外の病棟も、必要時はコロナ対応病棟に応援に行く体制をとる等、看護部全体で取り組みました。

病院外へのコロナ対応も必要となりました。県内で複数の医療機関や老人施設等でクラスターが発生し、感染管理体制の見直しや看護師の人員不足を補うために、DMAT看護師を派遣しました。また、県内の医療体制を維持していくために、陽性者療養宿泊施設へコロナ対応経験が豊富な看護師を派遣し、体制構築等を支援しました。医療がひっ迫している東京・大阪の病院にも、重症患者対応のために看護師を派遣しました。毎回、社会貢献への高い志を持った看護師が多数協力を申し出てくれたことは大変嬉しいことでした。

コロナの感染の波を収束させるためには、ワクチン接種の推進は必須です。病院職員対象のワクチン接種や長崎大学本学での職域ワクチン接種では、接種後の気分不良者対応の体制整備や経過観察等に従事する看護師のシフトを整えました。

コロナの収束はまだ先と思われますが、今後は「withコロナ」も見据えて、看護部一丸となって取り組んでまいります。

《新型コロナウイルス感染患者受け入れ病棟の様子》



新型コロナウイルス感染の状況下で看護師として働く思い

長崎大学病院 7階東病棟 保健学科15回生 古賀みなみ

「まずは自分が感染しないようにしよう」。このような思いを持ち、第3波よりコロナ病棟勤務となった1年目の12月。一般病棟でもまだまだ未熟な私に務まるのかという不安が大きかったことを覚えています。PPE着脱の練習、マニュアルを読み準備をしました。

看護をする中で、スケジュールを組み立て効率よく業務を行う必要があり、患者に接する看護師と外回り看護師との連携がとても重要だと感じました。実際に不足部分をフォローして頂き、たくさん助けられました。また、PPE(個人防護具)着用による通常と違う形での看護に難しさも感じました。さらに、患者にとっては長期隔離によるストレスや不安があり、これに対し看護師がどう関わるべきかを考えさせられる場面も多くあったように思います。感染症病棟の現状を知り、様々な経験から多くの学びを得ることができました。

先の見えない新型コロナとの戦いは続きますが、今後も私にできる看護を考え行動していきたいと思います。



「経済的困窮状態にある学生に対する経済的支援」に関する御礼とご報告

長崎看護学同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2020年の「看護学同窓会便り」に、新型コロナウイルス感染症まん延による経済的困窮状態にある学生達への支援についてお願い文を同封させていただきました。2021年8月末日までに、延251人の方々から、計5,564,000円のご寄付をいただきました。当初予定の100万円をはるかに上回るご配慮を賜り、心より御礼申し上げます。

これまでに、延58人の学生に、1カ月当たりの上限を1人3万円とし、計1,641,000円の生活支援金を支給することができました。支援を受けた学生らは皆様からの御心遣いに感謝しつつ、実習に取り組んでおります。

2020年度は、長崎大学病院をはじめとし、コロナ禍においても、病棟滞在時間短縮等の制限はあるものの、可能な限り学生の学びの機会を保障してくださったことに感謝しております。

2021年度は、希望する学生らには新型コロナワクチン接種もした上で、引き続き時間制限や人数制限がある中での実習を進めているところです。ただ、実習受入施設によっては、実習期間中のアルバイトを禁止することを実習要件としている所があります。そのため、今年度も実習期間中の生活支援金を必要とする学生がおります。皆様からのご寄付により、財源は十分にありますので、今年度も支援金を支給させていただく予定です。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。時節柄、どうぞご自愛の上、お過ごしください。

2021年9月吉日

長崎大学医学部保健学科看護学専攻主任
大西眞由美

【連絡・問合せ】

〒852-8520 長崎市坂本1-7-1

電話) 095-819-7943

ファックス) 095-819-7907

e-mail) mohnishi@nagasaki-u.ac.jp



物故者のお知らせ

お知らせいただいた方を掲載しております。



森崎 マサエ(旧姓 樋口)
養成所18期生 令和3年7月25日

永吉 静子(旧姓 山下)
養成所21期生 令和2年12月13日

谷川 澄江(旧姓 堀)
看学2回生 令和2年3月20日

元村 キクノ(旧姓 山口)
看学5回生 令和3年7月2日

山本 利子(旧姓 江頭)
看学5回生 令和2年8月28日

坂口 篤子(旧姓 渡邊)
看学5回生 令和2年8月8日

高木 あけみ
看学8回生 令和2年10月13日

前田 恵子
看学12回生 令和2年8月16日

令和3年度看護学研究奨励賞受賞者 ならびに次年度募集について

コロナ禍での研究活動は様々な制限が推測されます。そのような中、昨年度は0件でしたが、本年度は1件の応募があり採用となりました。研究奨励賞が、困難な状況で活動する研究者への応援になればと思います。

〈本年度受賞の研究課題〉

- ①「腹腔鏡下消化管手術の麻酔導入前後における灌流指標と中枢温の関連」
原 健太郎(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻)

☆次年度も以下の日程で募集します。ご応募をお待ちしております。

応募期限: 令和4年6月20日～7月20日 詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 勝野久美子 長崎北病院

Tel : 095-886-8700

E-mail: kita_k_katsuno@shunkaikai.jp

ホームページのご案内

長崎看護学同窓会のホームページで皆さまへのお知らせやご報告、ニュースレターなどの情報発信を行っております

<https://www.nagasaki-kango.org>



令和3年度看護学同窓会理事名簿

役職・氏名	卒業回・所属
名誉会長 加藤 奈智子	看学2
会長 浦田 秀子	看学21・原爆後障害医療研究所
副会長 萩原 絹子	看学28
勝野 久美子 (看護学研究奨励賞担当)	看学27 春回会長崎北病院
書記 小淵 美樹子 中尾 理恵子	看学36・看護部 医短3・保健学科
会計 鳥越 絹代 齊藤 美保	医短1・12階東 医短2・看護部
監査 下田 澄江 田添 京子	看学20 看学22
学外理事 荒木 宣代 山口 則子 林田 英子 久松 千鶴香 鈴木 尚子 堀川 新二(新規理事) 鈴木 由布子	看学10 看学15 看学21 看学26 看学30 医短15 保健6
学内理事 福田 昌恵 中村 千代美 後田 実知子 片山 哲也 森藤 香奈子 (看護学研究奨励賞担当) 張川 恭子 大山 祐介 森下 暁	看学34・手術部 看学36・11階西 医短2・看護部 医短8・看護部 医短10・保健学科 医短10 医短15 保健2

編集後記: コロナ禍での同窓会便り発行も2度目となり、今回はコロナ関連の報告が多くなりました。来年こそ総会・懇親会を開催できることを祈りつつ、感染予防を行い、日々の業務に取り組んでいきたいと思っております。
(医短10・張川恭子)